

物質化学専攻	研究分野	高分子合成化学	Lab. ID MC11
研究室Webサイト	<a href="http://kohka.ch.t.kanazawa-u.ac.jp/lab5/saito/index.html">http://kohka.ch.t.kanazawa-u.ac.jp/lab5/saito/index.html</a>		
研究課題の概要			
<p>分子、特に高分子においては、化学構造や分子量、立体規則性などの一次構造だけでなく、コンホメーション等の二次構造やさらにそれらが超分子的に集合した高次の構造制御により、その物性や機能が大きく変化する。したがって、より高度な機能発現の達成には、一次から高次にわたる各階層の厳密な構造制御が重要な鍵となる。本研究グループでは、精密構造制御を基盤にした機能性ソフトマテリアルの創製と応用を目指した研究を中心に行っている。</p>			
博士前期課程/後期課程院生の指導方針、具体的なカリキュラム、研究室での活動等			
<p>週に1回、M院生が持ち回りで論文紹介を行う論文輪講会を開催しています。参加者は年に2回、各自の研究分野の最新・一流の英語論文に関して発表を行います。学生からの質問を促す「学生座長」を持ちまわりで設けるなど、議論を活発にするための工夫も行なっています。また、各自の研究の進捗状況を紹介し、意見交換するためのリサーチセミナーを毎月開催しています。学生一人一人が各自の研究内容について発表を行います。発表時間以上の議論時間を設け、研究内容についての活発な議論が行われます。M1の12月に各院生と担当教員全員で面談を行い、修士論文作成に向けての準備状況、研究計画などについて発表し、研究室教員全員で点検、指導を行います。D院生は主任指導教員を中心とするいずれかの研究グループに属し、研究グループでのゼミや討論会に参加します。D1及びD2の12月に、博士論文作成に向けての方針をセミナー形式で発表し、研究室全体で確認します。博士論文提出のためには、英文国際誌への論文投稿が必須です。</p>			
研究室生活の紹介等			
<p>研究室内での活動はゼミや講義の時間以外は自由です。図書、印刷、文房具の利用にも制限はありません。一人1台のパソコンが与えられて自由に使えます。 非常時を除いて研究室には寝泊まり禁止です。規則正しい生活・食事が勉学・研究活動を支えます。</p>			
教員からのメッセージ			
<p>一緒に、機能性高分子化学を楽しみましょう。年度の最初に研究室の新人ガイダンスを行います。このガイダンス時に、カリキュラムの説明、安全教育、各種装置の使用上の注意に関する説明を行います。ガイダンスの後は新人歓迎の花見があります。修士号取得後の就職先は、公務員、教員、一般企業と分布しています。博士後期課程への進学者も継続的におり、博士号取得後の就職先は、研究機関のポスドク、一般企業となっています。</p>			
研究室連絡先メールアドレス	前田勝浩 <maeda *at* se.kanazawa-u.ac.jp>		